資料　3

工業標準等調査審議報告書（制定・改正）

制定・改正の別

制定

工業標準案(制定)・日本工業規格の改正案(改正)の番号及び名称

規格番号　　JIS A8340-6
規格名称　　土工機械－安全－第６部：機械式ショベルの要求事項
改正の場合、現行規格名称
[団体規格を基礎とした場合は団体規格番号及び名称]

主務大臣

経済産業大臣及び厚生労働大臣の共管

制定・改正の内容等に関する事項

・制定・改正の必要性及び期待効果

建設業に係わる労働死亡災害は、全死亡災害の約４割を占め、そのうち建設機械関係によるものが約半分を占める。死傷者数に到っては死亡者数の約５０倍に達する。全体の死傷者数は暫減傾向にあるものの、この比率は余り変っておらず、従来の部分的な安全事項を規定する法律に変わって、労働災害を減らす新しい方法として、リスクアセスメントを導入し本質安全設計による機械の安全化を目指した「機械の包括的安全にかかわる指針」が平成１３年６月１日付けで厚生労働省より通達されている。

この指針に対応する個別の建設機械の安全要求事項を定めたJISが必要とされており、それに対応するものである。

この安全規格を取り入れた建設機械が普及することにより、死亡災害の更なる低減が期待できる。

・規定項目又は改正点

規定する主な箇条は、次のとおり。

１　適用範囲
２　引用規格
３　用語及び定義
４　機械式ショベル特有の重大な危険源のリスト
５　安全要求事項・安全方策
６　取扱説明書

附属書Ａ（参考）機械式ショベルの代表的な図例
附属書Ｂ（規定）機械式ショベル特有の重大な危険源のリスト

原案作成に関する事項

原案作成機関名　　社団法人　日本建設機械化協会

・原案作成区分

法１１条による：　調査研究委託

・原案作成委員会の構成表及び開催状況

別紙のとおり。

日本工業標準調査会の審議に関する事項

・部会名：標準部会（部会長：二瓶　好正）

・専門委員会：産業機械技術（専門委員会長：小林　英男）

・審議経過

WG 議決年月日	年	月	日
専門委員会議決年月日	年	月	日
部会議決年月日	年	月	日

・審議中問題となった点

国際流通への影響に関する事項

・対応する国際規格及びそれらの規格との整合性

無

・既制定の類似・関連 JIS との関係

・関連する強制法規

無

・関連する公共調達基準

無

・工業所有権等知的財産権

無